

8月会員増強・新クラブ結成推進月間にあたり

国際ロータリー第 2590 地区ガバナー 志村 雄治



新年度のスタートは、7月1日の「ガバナー会」です。昨年はオンラインで開催されましたが、今年はリアルで東京・高輪プリンスホテルで開催されました。午前は全国 34 地区のガバナー会議から始まりました。このガバナー会は、地区ガバナー間の連携を緊密にすることによって、各地区及び各ロータリークラブの諸活動に便宜を提供し、ロータリーの発展に資することを目的として組織されています。2022-23 年度のガバナーとはほとんど ZOOM 会合でしたので、今回が、昨年 12 月、今年 4 月に続く 3 回目のリアルの会合でした。数少ない交流ですが、本当に親しくなりました。今後いろいろな面で協力して行きたいと思えます。

審議内容は、規定審議会が決めた今後のオーストラリア・ニュージーランドと RLBI の在り方等にどう対処するか、ロータリー文庫とガバナー会の関係等でしたが、いずれも継続審議となりました。午後は、歴代のガバナー会が開催され、リアルで行われるのは 3 年ぶりのためか、多数の皆様が参加されました。和気あいあいとした雰囲気、とても盛り上がりました。そして、その後ロータリーの友の委員会は、ハイブリッド方式で行われました。

さて、ロータリーには、月間、週・日の特別行事が設定されていて、8月は「会員増強・新クラブ結成推進月間」となります。このロータリーの特別月間は、クラブだけではなく、一人一人のロータリアンが、ロータリーの活動に積極的に参加するように強調するため、国際ロータリー (RI) 理事会が指定した月間のことです。

- ①一人でも多くの方に奉仕の理念を学んで頂く
- ②多様性をもたらす様々な友人との出会い

- ③良好な財政基盤と価値あるクラブ運営
- ④きめ細かい価値ある奉仕活動の実践

- ⑤クラブの維持存続 という目的のため、会員増強が求められています。

ロータリーの存続のために、ロータリアンの仲間を増やすというロータリーの普及活動を常に実施しなければなりません。我が第 2590 地区の最大の課題は、地区会員の毎年の減少から増強への転換です。1996-97 年度には、最大 3,200 人近くいた会員が、昨年度末には 1,840 人と約 4 割の減少となっています。

月信 1 号のガバナーメッセージにも書きましたが、「ロータリーの再生～新たな挑戦～」のためには、まず会員増強からスタートして頂きたいと思えます。そして、新クラブ結成については、非常に難しいテーマですが、衛星クラブ結成に向けた活動に挑戦したいと思います。特に、ローターアクトは、RI ではロータリークラブとローターアクトクラブは、同等の立場とされています。またロータリアンとローターアクターも同じ扱いをするべきだとしています。そこで、ローターアクトは、8人以上の「衛星クラブ」を目指してほしいと思えます。さらに、インターアクト卒業生の「衛星クラブ」ロータリー財団奨学生 OB や米山奨学生 OB 等の「衛星クラブ」等も結成を目指して行きたいと考えております。

ロータリーの再生に向けて、それぞれの立場で「新たな挑戦」をして頂きたいと思えます。